

全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会

第109号
(総会特集号)

平成26年3月31日発行

会報

(発行)

全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会
〒106-0012 東京都港区芝大門1丁目10番1号
(全国たばこビル内6階)
電話 (03) 6721-5710
FAX (03) 6721-5711
ホームページアドレス <http://www.zsp.jp/>

一年間どうもありがとうございました

全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会

会長 坂 ますみ

(東京都立光明特別支援学校PTA会長)



平成25年度もいよいよ終わろうとしています。この会報が皆さまのお手元に届くころには、新年度を迎えていることでしょう。

平成25年8月20日～22日に開催されました和歌山大会へは、大勢の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。大会特集号で報告されましたように、約540名におよぶ参加者を迎え、分科会では熱い研究討議が交わされ、盛況のうちに終えることができました。

最終日の会員研修では、「前例がなければつくればよい」というテーマで車いすに座り、気管切開をした声楽家青野浩美さんの歌と講演でした。自分の障害と向き合い、闘って夢を諦めなかった姿は、素晴らしいの一言では言い尽くせませんが、歌声は心に響くものがありました。

さて、昨年6月に障害者差別解消法が成立し、1月20日には、障害者の差別禁止や社会参加を促す「障害者の

権利に関する条約」の批准書を国際連合事務総長に寄託しました。26年2月19日から日本でも効力が生じることになりました。条約の締結により障害者の人権や基本的自由の享有を確保し、障害者の固有の尊厳の尊重を促進するため、権利の実現に向けた取組が一層強化され、人権尊重についての国際協力が一層推進されることとなります。このように、制度が進む中、全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会では制度に後れを取ることがないように、保護者の意見を吸い上げ、より一層子ども達の生きる環境が良いものになるように力を合わせていきたいと思っております。どうぞこれからもみなさまのご協力をお願いいたします。

最後に会報誌の発行が大変遅れてしまいましたことをお詫び申し上げます。



平成 25 年度 全国肢体不自由特別支援学校 P T A 連合会

《 総 会 》



平成 24 年度事業報告

1. 総会及び研究大会

平成 24 年 8 月 19 日(日)～21 日(火)

於：メルパルク長野

主題

「肢体不自由の子どもたちの一人一人が生きる力を育むために、P T A 活動はどうあるべきか」

(1) 基調講演

文部科学省初等中等教育局特別支援教育課

特別支援教育調査官 下 山 直 人 氏

「特別支援教育の動向と肢体不自由教育の課題」

(2) 分科会「(新)子どもたちをとりまくネットワーク」

第 1 分科会「学校」

「楽しく P T A 活動を目指して」

愛知県立一宮養護学校

近 藤 恵 美 子 氏、浦 田 聡 恵 氏

「P T A 活動における一体感について」

静岡県立南部特別支援学校 笥 圭 一 郎 氏

第 2 分科会「地域」

「地域のボランティアとの連携による学校支援」

大阪府立東大阪支援学校 高 岡 忍 氏

「子どもたちが豊かに暮らせるための地域交流とは」

姫路市立書写養護学校 安 達 一 成 氏

第 3 分科会「福祉」

「豊かな福祉環境をめざして」

岡山県立岡山支援学校

岩 崎 奈 緒 美 氏 小 泉 美 由 紀 氏

「福祉サービス等の利用の現状と今後の見通し」

鳥取県立皆生養護学校 坂 東 弘 美 氏

第 4 分科会「労働」

「子どもたちのより良い進路選択・決定のために」

大分県立別府支援学校 西 田 さ よ 子 氏

「鹿養の進路指導と保護者の願いについて」

鹿児島県立鹿児島養護学校 吉 村 聖 子 氏

第 5 分科会「医療」

「教育における医療的ケア～連携による体制の構築と教育効果の実践」

札幌市立北翔養護学校

高 田 洋 子 氏 藤 倉 水 緑 氏

「障害の重い子どもたちへの支援体制の現状と課題～医療的ケアを中心に」

岩手県となん支援学校 石 川 聡 氏

第 6 分科会「機器」

「いつでも (I) どこでも (D) 誰でも (D) 子どもの気持ち伝える本『IDDブック』」

横浜市立東俣野特別支援学校

八 柳 志 保 氏、千 葉 久 美 子 氏、

《次 第》

日 時 平成 25 年 8 月 20 日(火) 16:10～:17:00

会 場 和歌山県民文化会館

司会 本部事務局長 佐 藤 正 一

1. 会長挨拶

全国肢体不自由特別支援学校 P T A 連合会
(東京都立光明特別支援学校 P T A 会長)

坂 ま す み

2. 来賓挨拶

全国特別支援教育推進連盟

理事長 大 南 英 明 氏

社会福祉法人日本肢体不自由児協会

常務理事 井 田 千 昭 氏

3. 新規加入 P T A 紹介等

佐 藤 正 一

4. 議長選出

総会議長 近 畿地区 奈良県立明日香養護学校

P T A 会長 中 辻 千 賀 代

中・四地区 岡山県立岡山東支援学校

校長 福 田 百 合 子

5. 議事【総会議案の承認】

(1) 平成 24 年度事業報告

全肢 P 連会長 坂 ま す み

(2) 平成 24 年度会計決算報告

会計 石 田 み き

(3) 平成 24 年度会計監査報告

監事(東京都立村山特別支援学校 前 P T A 会長)
藤 居 典 子

(4) 平成 25 年度新役員選出

全肢 P 連会長 坂 ま す み

代表挨拶 全肢 P 連会長 坂 ま す み

(5) 規約・細則(案) 事務局長 佐 藤 正 一

(6) 平成 25 年度事業計画(案)

全肢 P 連会長 坂 ま す み

(7) 平成 25 年度会計予算(案) 会計 石 田 み き

(8) 表彰者の確認 全肢 P 連会長 坂 ま す み

6. 議長解任

その他、諸連絡

大谷千映子氏

(3) 会員研修

①講演「卒業後の生活を豊かにするために、今、学校や
保護者が考えること」

～長野県からの提案～

日本相談支援専門員協会 副代表

長野県相談支援体制整備推進アドバイザー

福岡 寿氏

②対談

日本相談支援専門員協会 副代表

長野県相談支援体制整備推進アドバイザー

福岡 寿氏

全国特別支援学校肢体不自由教育学校校長会 元会長

東京都立あきる野学園 元校長 池田 敬史氏

(4) 全体講評

文部科学省初等中等教育局特別支援教育課

特別支援教育調査官 下山 直人氏

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課

高木 憲司氏

厚生労働省職業安定局高齢・障害者雇用対策部障害者雇用
対策課地域就労支援室

障害者雇用専門官 稲田 憲弘氏

全国特別支援教育推進連盟

理事長 大南 英明氏

2. 役員会

(1) 第1回 平成24年8月19日(日)

於：メルパルク長野

(2) 第2回 平成25年1月16日(水)

於：全国たばこビル

3. 会報の発行

第104号 平成24年4月 20,000部

第105号 平成24年9月 20,000部 (総会報告)

第106号 平成24年10月 20,000部

第107号 平成24年11月 20,000部

(長野大会特集号)

第108号 平成24年1月 20,000部

4. 全国心身障害児福祉財団事業【国庫補助事業】

《保護者研修会》

○本部 平成25年1月17日(木)

全国たばこビル7階会議室 75名

テーマ「楽しく安全に摂る食形態と市販食品について」

講師 ㈱ヘルシーフード 福田 浩人氏

○中・四国ブロック 平成25年1月10日(木)

広島県立福山特別支援学校 34名

テーマ「『私が歩んだ道』～見えないから見えたもの～」

講師 社会福祉法人岡山ライトハウス理事

竹内 昌彦氏

○東京 平成24年11月17日(火)

国立オリンピック記念青少年総合センター 112名

テーマ「肢体不自由児における学校給食と食形態」

講師 都立学校教育部学校健康推進課

渡 會 勲氏

《ボランティア研修会》

○北・東ブロック 平成24日6月28日(日)

ホテル網走湖荘 25名

テーマ①「ボランティアにおける心構え」

講師 北海道網走養護学校 二上 顕億氏

テーマ②「介助の実際」

講師 北海道網走養護学校 大申 義信氏

○九州ブロック 平成24年9月26日(水)

沖縄県立桜野特別支援学校 73名

テーマ「障害の重い子のための静的弛緩誘導法によるア
プローチ」

講師 沖縄広がりの会代表 座波 次明氏

《親子ふれあいキャンプ療育事業》

○北・東ブロック 平成24年11月23日(日)～24日(土)

北海道拓北養護学校 シャトレーゼキングダムサッポロ

52名

テーマ①「親子でムーブメント活動」

講師 日本ムーブメント教育・療法協会北海道支部

代表 森 正人氏

テーマ②「親子でリラクゼーション体験」

講師 平山 右子氏

○関・甲ブロック 平成24年8月4日(土)～5日(日)

横浜市立中村特別支援学校 97名

テーマ「障害者と家族の暮らしの安心と豊かさのための
ヒケツ事例から今日の障害者の暮らしを考え
よう」

講師 神奈川県障害者自立生活支援センター

武藤 正浩氏

○九州ブロック 平成25年1月26日(土)～27日(日)

宮崎県立清武せいりゅう支援学校 青島観光ホテル

テーマ「動作法による教育支援」

講師 九州大学臨床心理センター

松藤 光生氏

《障害児・者父母団体地域指導者養成研修会》

全国5か所の予定

○[愛知県一宮市]

7月27日(金)～28日(土)

愛知県立一宮養護学校PTA会長参加

○[福井県福井市]

8月31日(金)～9月1日(土)

福井県立福井養護学校PTA会長参加

○[長崎県佐世保市]

11月9日(金)～10日(土)

長崎県立佐世保特別支援学校PTA副会長参加

○[山口県防府市]

25年2月15日(金)～16日(土)

山口県立防府総合支援学校PTA会長参加

○[徳島県小松島市]

25年3月8日(金)～9日(土)

徳島県立ひのみね支援学校PTA副会長参加

5. 関係団体事業及び行事への参加

(1) 関係各省庁への陳情及び会議

- 文部科学省 特別支援教育課へ
後援及び派遣依頼 大会お礼
- 厚生労働省 障害福祉課へ
後援及び派遣依頼 大会お礼
- 厚生労働省 雇用対策課へ
後援及び派遣依頼 大会お礼
- 内閣府 「障害者フォーラム 2012」 12/3(月)
- (2) 全国特別支援教育推進連盟理事会及び行事への参加
 - 理事会 5/11(金)、7/10(火)、10/5(金)、
24年2/1(金)
 - 第35回全国特別支援教育振興協議会
12/7(火)
於：国立オリンピック記念青少年総合センター
- (3) 社会福祉法人全国心身障害児福祉財団会議への参加
- (4) 社会福祉法人日本肢体不自由児協会
「第31回日本肢体不自由児・者の美術展」
常陸宮殿下のご臨席のもと開催、表彰式及び作品鑑賞
12/6(木) 於 東京芸術劇場
全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会賞の授与
長崎県立諫早特別支援学校 中学部3年
辻 優希子さん
筑波大学附属桐が丘特別支援学校 小額部年
西川 小百合さん
- 運営委員会 9/27(火) 審査会 10/16(火)
- 手足の不自由な子供たち「はげみ」編集会議
5/7(月)、9/4(火)、25年2/5(火)、25年3/5(火)
- (5) 日本肢体不自由教育研究 運営委員会、研究大会
 - 総会及び運営委員会 5/19(土)
 - 運営会議 5/19(土)、6/16(土)、7/14(土)、
10/20(土)、11/17(土)、12/15(土)、
24年1/12(金)、
 - 第36回研究大会 8/9(木)～10(金)
於：国立オリンピック記念青少年総合センター
- (6) 各地区主催の肢体不自由特別支援学校PTA連合会・
校長会合同研究協議会への参加
 - 都肢P連総会 5/15(火) 歓送迎会 5/26(土)
 - 関肢P連理事会 5/9(水)、25年1/16(水)
 - 関肢P連及び校長会合同会議(群馬大会)
7/29(月)～30(月)

6. 関係団体への後援等

- 第36回肢体不自由教育研究大会
- 平成24年度「第31回日本肢体不自由児・者の美術展」
日本肢体不自由児協会
- 第45回全国肢体不自由児・者父母の会連合会全国大会
第32回東北地区全国肢体不自由児・者父母の会連合会
宮城大会
- 平成24年度てんかんを正しく理解する月刊 協賛
「第34回てんかん基礎講座」
- 平成24年度第48回関東・甲越地区肢体不自由特別支援
学校PTA連合会総会及びPTA・校長会合同研究協議会
(群馬大会)
- 第50回中部地区肢体不自由教育研究大会(静岡大会)

7. 表彰者と顧問の推薦

全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会 前会長
(東京都立墨東特別支援学校PTA前会長)

濱川 浩子 様

全国特別支援学校肢体不自由教育校校長会 前会長
全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会 前副会長
(東京都立光明特別支援学校 前校長)

三室 秀雄 様

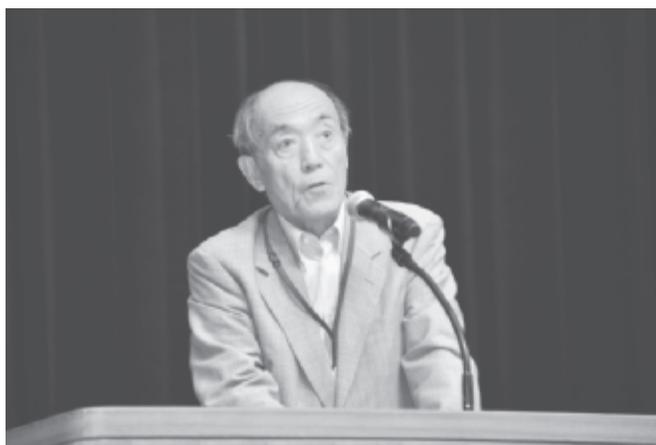
全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会「神奈川大会」
実行委員会
主管校(神奈川県立麻生養護学校PTA会長)

伊豆 味るみ子 様

※規約の第16条、および細則の第5条によって、全国特別
支援学校肢体不自由教育校校長会前会長の三室秀雄氏を顧問
に推挙する。

来賓あいさつ

全国特別支援教育推進連盟
理事長 大南 英明 氏



日本肢体不自由児協会
常務理事 井田 千昭 氏



平成 25 年度 全国肢体不自由特別支援学校 P T A 連合会顧問名簿

氏 名	備 考
永 島 弘 子	平成 3 年度 会 長(東京都立北養護学校)
谷 口 篤	平成 8 年度～平成 12 年度 会 長(東京都立北養護学校)
佐 竹 京 子	平成 13 年度 会 長(国立筑波大学附属桐が丘養護学校)
村 上 節 子	平成 14 年度～平成 15 年度 会 長(東京都立城北養護学校)
木 村 知 鶴	平成 16 年度～平成 17 年度 会 長(東京都立小平養護学校)
江 本 緑	平成 18 年度～平成 19 年度 会 長(東京都立光明特別支援学校)
濱 川 浩 子	平成 20 年度～平成 23 年度 会 長(東京都立墨東特別支援学校)
中 島 秀 夫	昭和 54 年度～昭和 58 年度 全国肢体不自由養護学校長会長(東京都立小平養護学校長)
三 浦 和	昭和 61 年度～平成元年度 全国肢体不自由養護学校長会長(東京都立光明養護学校長)
青 柳 勝 久	平成 4 年度～平成 5 年度 全国肢体不自由養護学校長会長(東京都立北養護学校長)
鈴 木 峻	平成 6 年度～平成 8 年度 全国肢体不自由養護学校長会長(東京都立光明養護学校長)
林 友 三	平成 9 年度～平成 11 年度 全国肢体不自由養護学校長会長(東京都立北養護学校長)
今 里 勉	平成 12 年度 全国肢体不自由養護学校長会長(東京都立光明養護学校長)
飯 野 順 子	平成 13 年度 全国肢体不自由養護学校長会長(東京都立村山養護学校長)
能 瀬 廉 英	平成 14 年度 全国肢体不自由養護学校長会長(東京都立光明養護学校長)
伊 東 光 雄	平成 15 年度～平成 16 年度 全国肢体不自由養護学校長会長(東京都立光明養護学校長)
池 田 敬 史	平成 17 年度～平成 20 年度 全国特別支援学校肢体不自由教育校長会長(東京都立あきる野学園校長)
土 井 富 夫	平成 21 年度～平成 22 年度 全国特別支援学校肢体不自由教育校長会長(東京都立城北特別支援学校長)
三 室 秀 雄	平成 23 年度 全国特別支援学校肢体不自由教育校長会長(東京都立光明特別支援学校長)
福 地 周 一	福岡市立今津養護学校元 P T A 会長
埜 野 兪	昭和 50 年度～昭和 53 年度 会 長(東京都立光明養護学校) 平成 20 年 4 月 27 日ご逝去
石 川 昌 次	昭和 59 年度～昭和 60 年度 全国肢体不自由養護学校長会長(東京都立光明養護学校長) 平成 19 年 9 月 22 日ご逝去
早 瀬 俊 夫	昭和 47 年度 全国肢体不自由養護学校長会長(大阪府立堺養護学校長) 平成 19 年 6 月 23 日ご逝去

平成 24 年度 会計報告

全国肢体不自由特別支援学校 P T A 連合会

〈収 入〉

(単位：円)

項 目	24 年度予算	24 年度決算	摘 要
前 年 度 繰 越 金	1,928,198	1,928,198	
会 費	7,240,000	7,243,600	207 校分担金(400 円× 18,109 人児童生徒数)
自 転 車 補 助 金	600,000	600,000	(財) J K A (大会特集号 600,000 円の補助内訳)
国 庫 事 業 補 助 費	1,220,000	1,206,272	別紙内訳
助 成 事 業 費	0	0	実施予定なし
寄 付 金	0	0	
雑 収 入	700,000	1,262,463	保険手数料、オムツ手数料、利息等
合 計	11,688,198	12,240,533	

〈支 出〉

項 目	24 年度予算	24 年度決算	摘 要
会 議 費	700,000	447,592	大会・総会・役員会(40 万)、その他会議
研 修 費	1,100,000	844,220	大会(60 万)、大会参加費、関係団体研修費等
会 報 費	2,000,000	1,607,400	104・105・106(総会)・107(大会 40 万)・108 号
分 担 金	139,000	139,000	推進連盟、日肢協美術展、日肢研
渉 外 費	100,000	48,265	周年行事、互助慶弔費等
地 区 助 成 費	480,000	480,000	80,000 円× 6 ブロック
交 通 費	500,000	497,990	研修大会交通費、一般交通費等
通 信 費	1,000,000	678,963	電話、郵券、会報発送費、振込み料等
事 務 局 運 営 費	3,200,000	3,233,933	事務室使用料、事務作業費等 〈かたつむり〉派遣支払い
国 庫 事 業 補 助 費	1,220,000	793,369	別紙内訳(親子ふれあいキャンプ 1 件未払い)
助 成 事 業 費	0	0	実施予定なし
事 務 用 品 費	330,000	294,041	消耗品、事務用品全般、他
備 品 費	300,000	68,335	パソコン関連(メンテナンス修理含む)・他
雑 費	50,000	5,635	貸し金庫使用料
予 備 費	569,198	567,933	引っ越し費用、入居時敷金
次 年 度 繰 越 金	0	2,533,857	
合 計	11,688,198	12,240,533	

〈資 産〉

敷 金	507,933	全国たばこビル 6 階
-----	---------	-------------

〈特別会計積立額〉

平成 22 年度	1,000,000
平成 23 年度	1,000,000
受 取 利 子	740
合 計	2,000,740

平成 24 年度 国庫補助事業内訳

項 目	24 年度予算	24 年度決算	実施ブロック
保 護 者 研 修 会	30,000	30,000	本部
	30,000	20,869	中国・四国 (広島県立広島特別支援学校)
	30,000	30,000	東京 (東京都立永福学園)
ボ ラ ン テ ィ ア 研 修 会	40,000	40,492	北海道・東北(北海道網走養護学校)
	40,000	38,008	九州 (沖縄県立桜野特別支援学校)
親 子 ふ れ あ い キ ャ ン プ 療 育 事 業	350,000	347,000	北海道・東北(北海道拓北養護学校)
	350,000	347,000	関東・甲越 (横浜市立中村特別支援学校)
	350,000	352,903	九州 (宮崎県立清武せいりゅう支援学校)
合 計	1,220,000	1,206,272	

会計決算報告

上記の通り平成 24 年度の収支決算を報告いたします。

平成 25 年 7 月 19 日

全国肢体不自由特別支援学校 P T A 連合会

会 長 坂 ますみ ㊟

会 計 石 田 みき ㊟

会計監査報告

監査を実施した結果、適正に処理されていることを認めます。

平成 25 年 7 月 19 日

全国肢体不自由特別支援学校 P T A 連合会

監 事 佐 藤 正 一 ㊟

監 事 藤 居 典 子 ㊟

平成 25 年度 全国肢体不自由特別支援学校 P T A 連合会役員名簿

	役職名	氏 名	所 属	ブロック	備 考	
役員	会 長	坂 ま す み	東京都立光明特別支援学校 P T A 会長	関 東・甲 越		
	副 会 長	杉 野 学	東京都立多摩桜の丘学園校長	関 東・甲 越		全肢長会長
	副 会 長	刀 根 さ お り	東京都立北特別支援学校 P T A 会長	関 東・甲 越		都肢 P 連副会長
	副 会 長	榊 千 秋	青森県立八戸第一養護学校 P T A 会長	北海道・東北		ブロック長
	副 会 長	竹 中 久 美 子	千葉県立桜が丘特別支援学校 P T A 会長	関 東・甲 越		ブロック長
	副 会 長	斉 藤 千 賀 子	岐阜県立関特別支援学校 P T A 会長	中 部		ブロック長
	副 会 長	鈴 木 隆 平	和歌山県立南紀支援学校 P T A 会長	近 畿		ブロック長
	副 会 長	福 本 架 代	徳島県立ひのみね支援学校 P T A 会長	中国・四国		ブロック長
	副 会 長	山 元 雅 子	宮崎県立清武せいりゅう支援学校 P T A 会長	九 州		ブロック長
理事	理 事	坂 ま す み	東京都立光明特別支援学校 P T A 会長	関 東・甲 越	大会実行委員長	
	理 事	杉 野 学	東京都立多摩桜の丘学園校長	関 東・甲 越		
	理 事	刀 根 さ お り	東京都立北特別支援学校 P T A 会長	関 東・甲 越		
	理 事	榊 千 秋	青森県立八戸第一養護学校 P T A 会長	北海道・東北		
	理 事	根 市 正 彦	青森県立八戸第一養護学校校長	北海道・東北		
	理 事	竹 中 久 美 子	千葉県立桜が丘特別支援学校 P T A 会長	関 東・甲 越		
	理 事	中 川 奥 治	千葉県立桜が丘特別支援学校校長	関 東・甲 越		
	理 事	斉 藤 千 賀 子	岐阜県立関特別支援学校 P T A 会長	中 部		
	理 事	土 屋 明 之	岐阜県立関特別支援学校校長	中 部		
	理 事	鈴 木 隆 平	和歌山県立南紀支援学校 P T A 会長	近 畿		
	理 事	佐 野 恵 津 子	大阪府立岸和田支援学校校長	近 畿		
	理 事	福 本 架 代	徳島県立ひのみね支援学校 P T A 会長	中国・四国		
	理 事	福 田 由 理 子	岡山県立岡山東支援学校校長	中国・四国		
	理 事	一 柳 小 由 里	愛媛県立しげのぶ特別支援学校 P T A 会長	中国・四国		
	理 事	菅 俊 雄	愛媛県立しげのぶ特別支援学校校長	中国・四国		
理 事	山 元 雅 子	宮崎県立清武せいりゅう支援学校 P T A 会長	九 州			
理 事	佐 藤 成 年	宮崎県立清武せいりゅう支援学校校長	九 州			
評議員	評 議 員	鈴 木 廣 隆	北海道真駒内養護学校 P T A 会長	北海道・東北	大会主管校長	
	評 議 員	福 井 一 之	北海道真駒内養護学校校長	北海道・東北		
	評 議 員	南 泰 子	栃木県立のぞわ特別支援学校 P T A 会長	関 東・甲 越		
	評 議 員	河 野 一 郎	山梨県立甲府特別支援学校校長	関 東・甲 越		
	評 議 員	信 定 裕 美 子	愛知県豊田市立豊田養護学校 P T A 会長	中 部		
	評 議 員	片 桐 俊 男	長野県立花田養護学校校長	中 部		
	評 議 員	中 辻 千 賀 代	奈良県立明日香養護学校 P T A 会長	近 畿		
	評 議 員	谷 嗣 弘	和歌山県立南紀支援学校校長	近 畿		
	評 議 員	風 井 礼 子	広島県立西条特別支援学校 P T A 会長	中国・四国		
	評 議 員	笠 野 保 子	広島県立西条特別支援学校校長	中国・四国		
	評 議 員	濱 田 聖 美	大分県立別府支援学校 P T A 会長	九 州		
	評 議 員	安 東 和 子	大分県立別府支援学校校長	九 州		
監事 事務局長	監 事	浅 利 紀 子	東京都立府中けやきの森学園 P T A 会長	関 東・甲 越	都肢 P 連会長	
	監 事	堂 東 稔 彦	東京都立小平特別支援学校校長	関 東・甲 越	都肢長会	
	事務局長	佐 藤 正 一	全国肢体不自由特別支援学校 P T A 連合会事務局内			

平成 25 年度事業計画

1. 総会及び研究大会

平成 25 年 8 月 20 日(火)～22 日(木)

於：和歌山県民文化会館 ホテルアバローム紀の国
主 題 「肢体不自由の子どもたちの一人一人が生きる力を育むために、PTA 活動はどうあるべきか」

- (1) 基調講演
- (2) 分科会「(新)子どもたちをとりまくネットワーク」
第 1 分科会「学校」 第 2 分科会「地域」
第 3 分科会「福祉」 第 4 分科会「労働」
第 5 分科会「医療」 第 6 分科会「機器」
- (3) 会員研修
- (4) 全体講評

2. 役員会

- (1) 第 1 回 平成 25 年 8 月 20 日(火)
於：ホテルアバローム紀の国
- (2) 第 2 回 平成 26 年 1 月 16 日(木)
於：全国たばこビル 7 階会議室

3. 会報の発行

第 109 号 平成 25 年 3 月 20,000 部(総会報告合併号)
第 110 号 平成 24 年 11 月 20,000 部
(和歌山大会特集号)

4. 全国心身障害児福祉財団事業

【社会福祉法人全国福祉財団主催事業】
《障害児・者父母団体地域指導者養成研修会》
全国 3 か所の予定

【国庫補助事業】

全国心身障害児福祉財団事業実施地区割り当て

年度	国 庫 補 助 事 業		
	保護者研修会	ボランティア研修会	親子ふれあいキャンプ療育事業
24	本部 中国・四国 東京	北海道・東北 九州	北海道・東北 関東・甲越 九州
25	本部 九州	近畿 中国・四国	中部 近畿 中国・四国
26	本部 近畿	関東・甲越 中部	北海道・東北 関東・甲越
27	本部 関東・甲越	北海道・東北 九州	中部 近畿
28	本部 中部	近畿 中国・四国	中国・四国 九州
29	本部 北海道・東北	関東・甲越 中部	北海道・東北 関東・甲越

5. 関係団体事業及び行事への参加

- (1) 関係各省庁への陳情及び会議などの参加要請
- (2) 全国特別支援教育推進連盟 常任理事会・理事会行事への参加
- (3) 社会福祉法人全国心身障害児福祉財団 父母連絡会議等への参加
- (4) 社会福祉法人日本肢体不自由児協会
「第 32 回日本肢体不自由児・者の美術展」への協力
●運営委員会、審査会への参加及び全国肢体不自由特別支援学校 P T A 連合会賞の授与
- (5) 日本肢体不自由教育研究運営委員会及び研究大会への参加
- (6) その他
●各地区主催の肢体不自由特別支援学校 P T A 連合会・校長会合同研究協議会参加への参加

6. 関係友好団体への後援等

7. 表彰者の確認、顧問の推薦

8. 《全国大会 開催ブロックの予定一覧》

23 年度	(関東・甲信) 神奈川大会 主管校：神奈川県立麻生養護学校
24	(中部) 長野大会 主管校：長野県立稲荷山養護学校 花田養護学校
25	(近畿) 和歌山大会 主管校：和歌山県立南紀特別支援学校 副主管校：紀伊コスモス支援学校・ きのかわ支援学校
26	(中国・四国) 愛媛大会 主管校：愛媛県立しげのぶ特別支援学校
27	(九州) 熊本大会
28	(北海道・東北)
29	(関東・甲越) 60 周年記念大会

平成 25 年度 会計予算

全国肢体不自由特別支援学校 P T A 連合会

〈収 入〉

(単位：円)

項 目	24 年度予算	25 年度予算	摘 要
前 年 度 繰 越 金	1,928,198	2,533,857	
会 費	7,240,000	7,240,000	211 校分担金(400 円× 18,100 人児童生徒数)
J K A 補 助 金	600,000	0	(財) J K A (大会特集号の補助)
国 庫 事 業 補 助 費	1,220,000	840,000	別紙内訳
寄 付 金	0	0	
雑 収 入	700,000	600,000	保険手数料、オムツ手数料、利息等
合 計	11,688,198	11,213,857	

〈支 出〉

項 目	24 年度予算	25 年度予算	摘 要
会 議 費	700,000	320,000	総会、役員会、その他会議
研 修 費	1,100,000	750,000	親子ふれあいキャンプ(1 件)、研修会参加
大 会 補 助 費		2,360,000	大会、分科会発表校補助、大会特集会報(110 号)
会 報 費	2,000,000	1,000,000	109(総会)
分 担 金	139,000	183,000	推進連盟、日肢協美術展、日肢研
渉 外 費	100,000	200,000	他団体祝い金、周年行事出席、香典等
地 区 助 成 費	480,000	480,000	80,000 円× 6 ブロック
交 通 費	500,000	500,000	研修大会等交通費、一般交通費
通 信 費	1,000,000	740,000	電話、郵券、振込手数料、保険代金集金代行手数料等
発 送 費	0	260,000	会報発送費等
賃 借 料	0	1,300,000	事務所賃借料
人 件 費	0	1,200,000	事務局員(5 名分)
事 務 局 運 営 費	3,400,000	400,000	事務作業費・事務所共益費等
国 庫 事 業 補 助 費	1,220,000	840,000	別紙内訳
事 務 用 品 費	330,000	330,000	封筒、消耗品、事務関係全般他
備 品 費	300,000	100,000	パソコンメンテナンス他
雑 費	50,000	30,000	
予 備 費	369,198	220,857	項目以外の費用
合 計	11,688,198	11,213,857	

平成25年度 国庫補助事業内訳

項 目	24 年度予算	25 年度予算	実施ブロック
保 護 者 研 修 会	30,000	30,000	本部(東京)
	30,000	30,000	九州
ボ ラ ン テ ィ ア 研 修 会	40,000	40,000	近畿
	40,000	40,000	中国・四国
親 子 ふ れ あ い キ ャ ン プ 療 育 事 業	350,000	350,000	中部
	350,000	350,000	近畿
合 計	840,000	840,000	中国・四国

《和歌山大会宣言文》を渡しました



文部科学省特別支援教育課

厚生労働省 障害福祉課



厚生労働省
障害者雇用対策課

大会宣言文

現在、我が国においては、障害者権利条約の締結を目指し、障害者制度の集中的な改革が進められています。平成23年7月には障害者基本法が改正され、全ての国民が共生する社会を実現するため、障害者の自立と社会参加を進めることが明確にされました。教育については、障害者が能力や特性に応じて十分な教育が受けられるようにすることが引き続き示されるとともに、可能な限り障害のある子どもと障害のない子どもが共に教育を受けられるよう配慮することが規定されました。

文部科学省では、この間、中央教育審議会に「特別支援教育の在り方に関する特別委員会」を設置し、障害のある子どもと障害のない子どもが共に学ぶインクルーシブ教育システムの在り方について検討し、平成24年7月23日に中央教育審議会初等中等教育分科会報告として公表しました。

報告では、インクルーシブ教育システムにおいては、同じ場で共に学ぶことを追求するとともに、個別の教育的ニーズに最も的確に応える指導の提供が求められており、特別支援学校を含む多様で柔軟な教育の場を用意しておくことが必要とされています。

また、就学相談・就学先決定の在り方に係る制度改革の実施、教職員研修等の充実、環境整備などに財源を確保して取り組む必要が示されています。

特別支援学校は、インクルーシブ教育システムの理念を尊重しつつ、これまで以上に一人一人の教育的ニーズに応える特別支援教育を充実させることが求められています。特別支援教育の充実がインクルーシブ教育システムを推進する大きな力になるものです。

私たちは、障害のある人もそうでない人も支え合う、共生・協働の社会の実現に向け、PTA活動に取り組んで参ります。

本年、全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会ならびに全国特別支援学校肢体不自由教育校長会は8月20日・21日・22日の3日間、和歌山県において、PTA・校長会合同研究大会『和歌山大会』を開催し、「肢体不自由の子どもたちの一人一人の生きる力を育むために、PTA活動はどうあるべきか」を主題に研究協議を重ねました。

本研究大会において、共通理解に至った以下の重点事項を挙げ、関係機関が一致協力し、すべての子どもたちの幸福な未来を実現していくことを、ここに宣言いたします。

- 乳幼児期から生涯に渡り、教育・福祉・医療・労働等の各関係機関が協力し、子どもたち一人一人のニーズに応じた「個別の支援計画」を作成し、計画の実施、評価を通して、障害の重度・重複化、多様化に対応する特別支援教育の充実を図っていきます。
- 障害のある子どもと障害のない子どもが共に学ぶ機会を増やし、居住地での小・中学校との交流及び共同学習を推進し、地域生活の基盤づくりを進めていきます。特に、居住地の小・中学校との交流及び共同学習を推進します。
- 医療的ケアを安全に実施するため看護師の適切な配置を進めるとともに、介護職員等が一定の条件の下でたんの吸引等が実施できる制度の活用を図り、子ども達の教育を支えるため医療的ケアを充実させていきます。
- 障害のある子どもが等しく教育を受ける権利を確立するために、義務教育国庫負担制度及び特別支援教育就学奨励費制度の堅持・充実とその財源の確保を求めていきます。
- 特別支援学校は、その専門性を活かし、近隣の幼稚園や小・中・高等学校への相談支援や巡回指導などのセンター的機能の充実を図っていきます。
- 特別支援教育の一層の充実を図るため、特別支援学校等の教職員の専門性の向上を図ります。このため、独立行政法人国立特別支援教育総合研究所との連携を推進します。また、OT・PT・ST等の外部専門職との連携を進めます。
- 障害のある子どもたちが利用できる、放課後等サービス、児童発達支援センター、児童発達支援事業所等の整備を進め、医療的ケアの必要な障害児者も地域で安心して生活ができるよう、事業を拡充していきます。
- 卒業後の自立や社会参加に向けて、自立支援協議会の活用を図りつつ、相談支援事業を拡充し、就業や日中活動へ通う障害者のグループホーム・ケアホーム等の生活の場を確保します。
また、労働関係各機関等と連携を図り、生徒の就業を促進していきます。
- 各種支援機器や情報コミュニケーション技術等を活用し、肢体不自由のある子どもの学習と生活の支援の充実を図ります。

- 公共・民間の施設・交通機関のバリアフリー、ユニバーサルデザインを活用した建物や設備の整備が進むよう働きかけていきます。
- 自然災害等に備えて、学校、家庭、関係機関と連携・協力し、総合防災マニュアルの策定をはじめとして、地域社会において障害のある子どもがいついかなる時も安全・安心して生活ができるよう必要な施策の実現を働きかけていきます。

平成 25 年 8 月 22 日

全国肢体不自由特別支援学校 P T A 連合会
全国特別支援学校肢体不自由教育校長会

〈新規加入校紹介〉

佐賀県立伊万里特別支援学校

人と自然で人間愛を育む

本校は、佐賀県の西部に位置しています。すぐお隣はもう長崎県となる伊万里市に昭和 54 年に知的障害教育を行う伊万里養護学校として開校しました。それから数えると、35 年目を迎えた学校です。

平成 23 年度より肢体不自由課程を開設し、知肢併置校となりました。児童生徒数は 23 年度が 93 名(知 89、肢 4)でしたが、今年度は 106 名(知 91、肢 15)となっています。肢体不自由課程の児童生徒の数が約 4 倍となっています。また、昨年度からは医療的ケアの必要な児童を受け入れましたし、来年度は準じる課程の生徒を受け入れる事になりそうです。このように年度経過と共に軽度から重度の肢体不自由課程を持つ学校と言えるようになってきています。

学校は市街地や幹線道路から少し外れ、農地や畑地、学校のすぐ横には小山(学校側から頂上までは学校敷地)があり、四季折々の自然が楽しめる場所に建てられています。敷地面積も約 77,000m²とゆったりとした環境が整っています。このような環境の中、児童生徒は地元の人たちや教職員に見守られて、健やかに成長しています。

施設面に目をやると、知的障害教育校が前身であったため、二階建ての校舎や急勾配の長いスロープがあったり、プールに車椅子では行けず、子どもを抱きかかえて階段を上なくてはならないなど、UD 化を進めていくのが今後の課題となっています。

不便さは残っていますが、教職員、保護者とも楽しく明るい学校を作っていこうと頑張っています。これから肢体不自由特別支援学校 P T A 連合会に加盟し、皆さんと共に、これからの特別支援学校のあり方を考えていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。(校長 武 富 太 裕)

京都府立宇治支援学校

※今回原稿が間に合いませんでしたので、次回掲載させていただきます。

第32回「肢体不自由児・者の美術展」 及び「肢体不自由・者のデジタル写真展」

平成25年12月5日(木)に東京都豊島区の「東京芸術劇場」において、日本肢体不自由児協会主催の第32回「肢体不自由児・者の美術展」と同時開催の「肢体不自由・者のデジタル写真展」が常陸宮殿下のご臨席のもと開催されました。

全肢P連では、毎年会長賞として、絵画に1名と書に1名授与しています。

美術展には毎年、全国の肢体不自由児・者から多数のご応募をいただきます。それを、各部門の担当の先生方が選びます。選ばれた作品の中から審査委員である私たちが選考するのですが、今年も素晴らしい作品が多くとても悩みました。

今年度の受賞作品をご紹介します。



絵画の部 「V vs Z」

田中 佑樹

長崎県立諫早特別支援学校高等部2年



書の部 「波」(金子みすゞの詩)

木村 美咲

青森県立八戸第一養護学校中学部1年

今年度の受賞を目指して、是非ご応募ください。
全国の皆様の作品をお待ちしています。

＝編＝集＝後＝記＝

この度は、会報の発行が大変遅れてしまいましたことを心よりお詫び申し上げます。

今年度は事務局体制を一新しようと新しい体制を試みましたが、実際にはなかなか軌道に乗れず、皆様には大変ご迷惑をお掛けいたしました。1年間、事務局事情をご理解いただき、温かくご支援くださったことに、感謝申し上げます。今年度の事業内容を反省し、来年度に向けて更に業務内容を見直し、滞りなく業務が進みますように努めてまいります。

今後ともどうぞご指導ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。

〈文責 会長 坂ますみ〉